



行政視察内容報告書

平成 30年 3月 26日

土佐清水市議会議長
仲田 強 様

会派名 清友会

(提出者) 氏名 細川 博史



下記のとおり報告します。

項 目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	仲田 強 森 一美 浅尾 公厚 細川 博史 計 4 人
期 日	平成 30 年 1 月 10 日 から 30 年 1 月 12 日 まで
【概要】 (年月日・場所・内容) ○ 視察先： 和歌山県日高郡みなべ町 稲むらの火の館 ○ 目 的： ○ 防災対策について ○ 自主防災対策及び自主防災会連絡協議会について ○ 内 容： 別紙報告書のとおり	

【所 感】

みなべ町の防災対策、自主防災会連絡協議会の概要

今回の清友会の行政視察は、和歌山県日高郡みなべ町で、午前10時から、みなべ町の担当課長、係長より、防災対策、自主防災等についての説明を受け、その後に質疑応答を行った。

みなべ町の防災対策について

みなべ町では南海トラフ地震の津波想定予想は、14mとなっている。そのため、避難困難地域の検討地域を4つに割り高速道路への避難階段、津波避難ビル、津波避難タワー、高台への避難路設置等の解消対策の説明を受けました。

その後、3階建てのみなべ町津波避難タワーも見学させていただきました。

自主防災組織及び自主防災会連絡協議会について

町内34地区（組織率100%）で、平成22年に設立し34地区会長及び指名委員の計37名で運営しており、アドバイザーとして関西学院大学教授の教えを受け、自主防災組織の充実や強化を図っているとの説明を受けました。

防災訓練はもちろんの事、自分の命は、自分で守る大切さを改めて胸に刻みました。

視察後は、みなべ町議員の方のご好意により、隣接する美浜町及び日高川町の防災施設を案内して頂きました。

まず最初は美浜町に。

美浜町は、沿岸に近い場所に位置するため、南海トラフ地震に対して、大きな危機感を持っているように感じました。それは、避難場所がかなりの規模であったことから見て取れました。余剰残土を利用した人工の高台避難場所を建設し、規模としては、近畿最大との事でした。ここでは、3日程の生活が出来るほどの設備等が充実していました。

次に日高川町に案内されました。

日高川町は、山間部に位置しているため、山の崩壊が起こる危険性が高くその土砂災害防止対策として、数キロにわたり砂防壁が国道沿い一面に設置されていました。

また、日高川町では、2019年3月の完成を目指して、町防災センター（総事業費8億円）の建設現場も見学でき、有意義な研修でした。

最後に広川町に行きました。

ここは、村人たちを津波から救った、稲むらの火で知られる濱口梧陵（はまぐちごりょう）記念館を視察し、改めて、津波の恐ろしさを、再認識させられました。

【所 感】

この研修を今後活かしていきながら、自分自身、努力していきたいと考えています。

改めて、みなべ町の講師の方々やご案内いただきました、みなべ町議員に対しまして、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。